

保育内容(表現)

担当教員名	吉川 聡子、河本 洋一
開講期・単位	2年 前期・必修 1単位・演習・CHI322156

講義の目的および概要	<p>◇幼稚園教育要領や保育所保育指針における「表現」の位置付けを理解します。</p> <p>◇「表現」の構成要素を理解し、指導案を理解する力を身につけます。</p> <p>◇子どもの表現力を伸ばすための技術や教材を作成する力を身につけます。</p>
講義方法	<p>「保育者としての自分」という観点を毎回の授業の中に採り入れ、講義と演習をバランスよく取り入れながら、学生が自ら目標を立てて活動することを基本とします。</p>
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション：保育内容（表現）という科目の目指すものを理解し、授業の受け方を確かめます。 2. 幼稚園教育要領における「表現」の位置付け：「気づいたり、感じたりするなどして楽しむ」とはどういうことか、具体的に検討します。 3. 「表現」の構成要素：様々な事例から、多岐多様な「表現」の保育内容を理解します。 4. 「教えられること」と「教えるのではなく育てること：保育の中で混同されがちなこの2つについて、具体的に検討します。 5. 保育技術の基本：発問の仕方、表情によるコミュニケーションなど、子どもの表現力を伸ばすための技術の基本を体験します。 6. 保育技術の基本：発問の仕方、表情によるコミュニケーションなど、子どもの表現力を伸ばすための技術の基本を体験します。 7. 「表現」の指導の実際②：器楽を中心とした展開の留意点について取り上げます。 8. 「表現」の指導の実際③：図画工作や造形を中心とした展開の留意点について取り上げます。 9. 「表現」の指導の実際④：様々な表現を関連付けた展開の留意点について取り上げます。 10. 「表現」の指導の実際⑤：レτζョ・エミリア・アプローチ等の先進的な取組から、参考にすべき点を取り上げます。 11. モデルプランの再現の準備：優れた保育事例として紹介されている指導案を基に、自分たちがそれを再現するための準備をおこないます。 12. モデルプラン・リレー模擬保育①：既成の指導案を使い複数人がリレーで先生役を担当、子ども役にも予め複数の性格設定をおこない、先生と子どもの両方の立場で「表現」を体験する。また、同時に観察役も設定し、合計3役で模擬保育を展開した後、即座に振り返る。 13. モデルプラン・リレー模擬保育② 14. モデルプラン・リレー模擬保育③ 15. 授業内レポート：保育における「表現」の位置付け及び、子ども一人ひとりや集団の特徴に合わせた「表現」についての自分の考えを述べます。履修カルテの記入

到達目標	◇保育における「表現」の位置付けを理解できている。 ◇子ども一人ひとりや集団の特徴に合わせた保育内容「表現」の内容を組み立てることができる。 ◇保育内容「表現」の適切な指導方法を実践することができる。
成績評価基準と方法	下記A：B＝40：60 合計100点で評価します。 A 授業内レポート（40点） 保育における「表現」の位置付けと、「表現」についての自分の考えについて記述します。 B リレー模擬保育（20点×3回） 先生、子ども、観察のそれぞれの立場による取組についてワークシートを作成します。
テキスト・参考文献	◇幼稚園教育要領・保育所保育指針 ◇新版 遊びの指導 乳・幼児編（同文書院）
授業外学習	その他、参考文献については付属図書館の書籍を紹介します。
その他	◇本授業内では、既成のモデルプランを使用するので、指導案を作成することはありません。 ◇リレー模擬保育は、グループ評価ではなく個人評価なので、グループで準備する内容はありませんが、模擬保育のどの部分を担当しても構わないように、予め準備しておく必要があります。